

～ 唐津市短観 令和5年上半期調査結果 ～

- 現況は「悪い」（現況DI：▲14）、見通しは「悪くなる」（見通しDI：▲1）
- 現況DIについては前回よりマイナス幅が縮小、業種によっては回復の兆しが見えるものの、電力価格・物価の高騰により今後の景況感については厳しい見方が多数。

■調査概要

調査時期： 令和5年7月
 調査方法： インターネットによる回答
 調査内容： 前期と比較した今期（令和5年1～6月）の景況感および
 今期と比較した次期（令和5年7～12月）の見通し
 調査対象： 唐津市内の事業者から抽出した8業種147事業所
 回答数： 76（回答率51.4%）
 分析： 唐津市

■当期の結果概要

現在の景況感は「良い」18.4%に対し、「悪い」が32.9%と上回り、現況DIは▲14ポイントとなりました。業種別に見ると、農業、製造業、卸売・小売業、その他のサービス業においては前回調査に引き続き現況DIがマイナスとなっています。コロナ禍の収束傾向に伴い、宿泊・観光業、飲食業、旅客運送・運輸業はプラスに転じ指標は上昇しています。

6か月後の見通しについては「悪くなる」が18.7%、「変わらない」が64.0%と引き続き景況感は悪い状態が続くもしくはさらに悪くなる見通しとなっております。業種別では、宿泊・観光業、飲食業、旅客運送・運輸業、その他のサービス業で見通しDIがプラスとなっている一方、農業、建設業、卸売・小売業では見通しDIがマイナスとなっています。

天気マークと指標

特に好調 50≦DI	好調 25≦DI≦50	普通 0≦DI<25	不調 ▲25≦DI<0	極めて不調 DI<▲25

景況天気図

	全業種	農業	建設業	製造業	宿泊・観光業	卸売・小売業	飲食業	旅客運送・運輸業	その他のサービス業
前期 R4.7～R4.12	 ▲28	 ▲78	 7	 ▲23	 0	 ▲56	 ▲17	 ▲33	 ▲20
今期 R5.1～R5.6	 ▲14	 ▲13	 ▲14	 ▲13	 67	 ▲73	 22	 100	 ▲60
来期見通し R5.7～R5.12	 ▲1	 ▲14	 ▲14	 0	 67	 ▲36	 11	 100	 20

■当期の結果詳細

	前年調査	前回調査		現在の景況感			現況	6か月後の見通し			見通し		
	現況 DI	現況 DI	見通し DI	回答数 (n=)	良い (%)	普通 (%)	悪い (%)	DI (%ポイント)	回答数 (n=)	良くなる (%)	変わらない (%)	悪くなる (%)	DI (%ポイント)
総合	▲ 42	▲ 28	▲ 35	76	18.4	48.7	32.9	▲ 14	75	17.3	64.0	18.7	▲ 1
①農業	▲ 55	▲ 78	▲ 44	8	25.0	37.5	37.5	▲ 13	7	28.6	28.6	42.9	▲ 14
②建設業	▲ 35	7	▲ 33	14	0.0	85.7	14.3	▲ 14	14	0.0	85.7	14.3	▲ 14
③製造業	▲ 29	▲ 23	▲ 31	24	16.7	54.2	29.2	▲ 13	24	20.8	58.3	20.8	0
④宿泊・観光業	▲ 60	0	0	3	66.7	33.3	0.0	67	3	66.7	33.3	0.0	67
⑤卸売・小売業	▲ 45	▲ 56	▲ 56	11	9.1	9.1	81.8	▲ 73	11	0.0	63.6	36.4	▲ 36
⑥飲食業	▲ 57	▲ 17	▲ 17	9	33.3	55.6	11.1	22	9	11.1	88.9	0.0	11
⑦旅客運送・運輸業	▲ 25	▲ 33	▲ 17	2	100.0	0.0	0.0	100	2	100.0	0.0	0.0	100
⑧その他のサービス業	▲ 50	▲ 20	▲ 67	5	0.0	40.0	60.0	▲ 60	5	20.0	80.0	0.0	20

■当期の主なコメント

現在の景況感	良い	・ コメントなし
	普通	・ 燃油、物価ともに圧迫するまではないが、かなり影響はうけている。【製造業】
	悪い	・ コロナ融資後、返済できなくなった会社が融資を受けたとき以上に経営状況が悪化し、倒産し始めている。【製造業】 ・ コロナの時より、一段と不景気になっている。【卸売・小売業】
6か月後の見通し	良くなる	・ コメントなし
	変わらない	・ コメントなし
	悪くなる	・ 原料費・資材費・水道光熱費・人件費等の製造コストが大幅に上昇したため、やむを得ず商品価格を改定したが、改定と同時に商品の売れ行きも鈍化し、悪循環に陥って厳しい経営を強いられている。もはや、一企業だけの経営努力だけでは改善の兆しが見えないので、新規補助金等、行政の支援が必要。【製造業】 ・ コロナが終わって物価高。感染症対策用品が全く売れなくて、次は何を売ればいいのか思案中。【卸売・小売業】

唐津市短観（唐津市短期経済観測調査）とは？

各企業からの調査結果である「良い」「普通」「悪い」の3通りで回答したものを集計して、DI※で表したもの。DIは「良い」という回答の比率から「悪い」という回答の比率を引いて指数化するため、全調査企業が「良い」と回答すれば100、全ての企業が「悪い」と判断すれば▲100となり、ゼロが景気の拡大縮小の分かれ目の目安となる。

※DI（Diffusion Index）：企業や業界の景況感などを数値化した指標のことで、日本銀行の短観（全国企業短期経済観測調査）などで用いられている。